

**ベトナム・ビンズン新都市において、環境に配慮した商業施設「Hikari」拡張エリアの一部店舗が先行開業
～ゼロウェイスト※コンセプトのレストランが本日開業、施設内およびベトナム初の公道での自動運転走行試験を10月に実施～**

東急株式会社

BECAMEX TOKYU CO., LTD.

東急株式会社(以下、東急)の子会社であるBECAMEX TOKYU CO., LTD. (以下、ベカメックス東急)は、ベトナム社会主義共和国(以下、同国)ビンズン省ビンズン新都市において、2015年より商業施設「hikari」を運営しています。本日9月30日に、環境に配慮した商業施設「Hikari」として名称変更・リブランディングするとともに、拡張エリア(店舗面積約3,200㎡)(以下、本施設)が、核テナントの「Pizza 4P's」のオープンをもって先行開業します。なお、本施設のグランドオープンは2023年を予定しています。

商業施設「Hikari」は、人口約270万人のビンズン省都であるビンズン新都市の中心部・ビンズン省総合庁舎の正面に立地しています。本施設では、ビンズン新都市における持続可能な街づくりを目指して、緑豊かなランドスケープや、アクアポニックス、生ごみのコンポスト、エディブルガーデン(食べられる植栽)、太陽光発電などの環境に配慮した取り組みを導入しています。9月30日には、本施設のコンセプト設計から携わり、同国やカンボジアで現在27店舗を展開する日系イタリアン「Pizza 4P's」の旗艦店が開業し、ゼロウェイストをコンセプトにした同国初の環境配慮型レストランを目指します。

また、国土交通省都市局の「令和4年度 東南アジアにおけるスマート技術を活用したTOD型都市開発の実現に向けた調査・計画検討業務」の一環として、本施設にて10月1日から10月9日まで自動運転の実証実験を予定しています。10月3日には、ビンズン省総合庁舎と本施設を結ぶ、同国初となる公道走行試験を行います。今後は、実証実験で得られた走行データや調査結果を基に、データ利活用による都市・交通課題解決を目指します。

東急およびベカメックス東急は2012年より、ビンズン新都市において「東急多摩田園都市」の開発で蓄積したノウハウを活かした街づくり「東急ガーデンシティ」プロジェクトを推進しており、本年でベカメックス東急設立から10周年を迎えました。今後も、自然、教育、文化、オフィス、交通、医療、ICTなどの環境整備を行い、ビンズン新都市の発展に貢献していきます。詳細は別紙の通りです。

※ゼロウェイスト…レストランで出たごみを可能な限り減らし、リユースできるものに切り替え、それでも出してしまうごみをリサイクルする取り組み



▲Hikari 俯瞰写真



▲自動運転実証実験の様子

以 上

【別紙】

1. 物件概要

物 件 名 称	Hikari(ヒカリ)
所 在 地	Ly Thai To Street, Binh Duong New City, Hoa Phu ward, Thu Dau Mot City, Binh Duong Province, Vietnam
建 物 規 模	地上2階(一部)
主 要 用 途	商業施設(レストラン・カフェ・フードコート・コンビニエンスストアなど)
敷 地 面 積	約20,000㎡
店 舗 面 積	約 4,800㎡ 既存エリア 約1,600㎡(2015年1月開業) 拡張エリア 約3,200㎡(2022年9月30日 先行開業、2023年 グランドオープン予定)
テ ナ ント 数	約15店舗 及び フードコート(約10区画) など
新 規 開 業 テ ナ ント 名 称	Pizza 4P's(イタリアン)、スターバックスコーヒー(カフェ)、ゴンチャ(カフェ)、CHUK(カフェ)、浦江亭(焼き肉)、炉端あん(居酒屋)、鮭煉(寿司・和食) ほか
施 工 者	HOA BINH CONSTRUCTION GROUP JOINT STOCK COMPANY
設 計 者	丹羽隆志アーキテクト(代表 丹羽隆志 氏)
開 発 者	BECAMEX TOKYU CO., LTD. (ベカメックス東急)
着 工 時 期	2020年12月※拡張エリア着工
竣 工 時 期	2022年 6月

2. 物件イメージ



3. 環境配慮の取り組み

アクアポニックス	魚類と作物が共存する新しい農業栽培の仕組み。本施設内の人工池で育成する魚の排泄物が微生物に分解され、栄養分豊富な池の水になります。この池の水も、本施設内の水生植物や植栽の栄養として活用されます。
コンポスト(堆肥)	レストラン・カフェから出た生ごみを、虫や微生物の働きを活用して有機物を分解し、堆肥化する仕組み。本施設内で育成する野菜や果物、植栽の栄養として再利用します。
エディブルガーデン(食べられる植栽)	本施設内で育成する水生植物や植栽の多くを、食べることができる野菜や果物とすることで、収穫した野菜や果物を、本施設内のレストランで利用する循環型の仕組み。
太陽光発電	施設の屋根上に太陽光パネル約100枚(約60kW分)を設置し、本施設内店舗にて電力を活用する予定です。



4. 自動運転の実証実験

■概要:

国土交通省都市局の「令和4年度 東南アジアにおけるスマート技術を活用したTOD(※)型都市開発の実現に向けた調査・計画検討業務」の一環として、10月1日より自動運転の実証実験を開始します。対象エリアは、ビンズン省総合庁舎とHikariを結ぶ1周750メートルです。本実験では、ビンズン省行政関係者やビンズン新都市住民による試乗とアンケート調査も実施します。

※Transit Oriented Development; 公共交通指向型開発

10月3日には、ビンズン省から承認を得て、ビンズン省総合庁舎とHikariを結ぶ公道走行試験を行い、これは同国で初の公道での自動運転走行試験となる予定です。公道部分ではバイクや路線バスとの混在環境における走行の安全性検証を、Hikariでは歩車混在空間における安全性および受容性の検証を実施します。

今後は、得られた走行データや調査結果、既存の交通データを基に、データ活用による都市・交通課題解決を目指します。

■期間:2022年10月1日より10月9日まで (9日間)

■自動運転車両仕様:

航続距離:約100キロメートル

速度:最高時速40キロメートル

耐荷重:約600キログラム(4人乗り)

■走行試験ルート:

ルート1:Hikari敷地内(約180メートル)※10月1日~10月9日まで

ルート2:ビンズン省総合庁舎~Hikari(約750メートル)※公道を走行、10月3日のみ

■実証実験の協力先および役割

国土交通省都市局	実証実験実施に係る支援
日本工営株式会社	自動運転技術およびMaaSのコンサルティング、今後のスマートシティ化に向けた計画・データ分析
Phenikaa-X 合併会社	自動運転システムおよび自動運転車の機体の提供、路線バスアプリ「BusMap」への自動運転運行情報・リアルタイム位置情報の掲載

【参考】

■東急のビンズン新都市における主な実績

東急は、2012年からビンズン省ビンズン新都市において、低層・高層住宅や商業施設からなる開発を進めています。また、2014年からビンズン新都市の公共交通機関としてバス事業を展開しています。



▲ビンズン新都市開発全体イメージ

<住宅>

◇SORA gardens I (ソラガーデンズ1)

施設概要:分譲マンション (完売)

敷地面積:9,082㎡ 総戸数:406戸

専有面積:約67~105㎡(1部屋あたり)

階数:地上24階建 竣工時期:2015年3月

◇SORA gardens II (ソラガーデンズ2)

施設概要:分譲マンション (完売)

敷地面積:7,948㎡ 総戸数:557戸

専有面積:約55㎡~101㎡(1部屋あたり)

階数:地上24階建 竣工時期:2021年5月

※三菱地所レジデンス株式会社との共同事業

※住環境に配慮し、地上部に緑地帯を整備

◇MIDORI PARK The GLORY

(ミドリパーク ザ グローリー)

施設概要:分譲マンション (販売中)、一部商業

敷地面積:約19,000㎡ 総戸数:992戸

専有面積:約48㎡~108㎡(予定)(1部屋あたり)

階数:地上24階建 竣工時期:2024年

※NTT 都市開発株式会社との共同事業

◇MIDORI PARK HARUKA Terrace /

HARUKA Residence

(ミドリパーク ハルカテラス / ハルカレジデンス)

施設概要:分譲低層住宅 棟数:第1~4期合計 219棟

建物面積:約300~350㎡(1棟あたり)

竣工時期:2017年8月より順次開発中

<商業>

◇MIDORI PARK SQUARE(ミドリパーク スクエア)

施設概要:商業施設(レストラン、カフェ、コンビニなど)

店舗面積:約460㎡ 店舗数:3店舗

開業時期:2019年10月

◇SORA gardens SC(ソラガーデンズ エスシー)(第1期)

施設概要:総合スーパー「イオン」、飲食店など

敷地面積:約20,000㎡

店舗面積:約13,500㎡

開業時期:2023年夏(予定)



▲SORA gardens I および II



▲MIDORI PARK The GLORY



▲MIDORI PARK HARUKA



▲SORA gardens SC

<交通>

◇KAZE SHUTTLE (カゼシャトル) 路線バス

運行系統:ビンズン新都市~トゥーヤモット旧市街 ほか

路線数:6路線11系統

開業時期:2014年9月より順次路線拡大・開業

※BECAMEX TOKYU BUS CO., LTD. による運行

※燃料はCNG(圧縮天然ガス)を使用し環境に配慮



▲KAZE SHUTTLE

■ベカメックス東急 概要

名 称	BECAMEX TOKYU CO., LTD. (ベカメックス東急)
代 表 者	社長 呉 東建 (おう どんごん)
事 業 内 容	不動産開発業・不動産販売業・不動産賃貸業
資 本 金	8兆6,000億ベトナムドン (約521億円) ※2022年9月20日付レート(1円は約165ベトナムドン)による
設 立 年 月 日	2012年3月1日
資 比 率	東急株式会社 65% BECAMEX IDC CORP. 35%

以 上